



いのちと夢のコンサート ～弓削田健介さんを招いて～

2月15日(木)、合唱作曲家の弓削田健介氏を招いて「いのちと夢のコンサート」を行いました。

6月に愛知県PTA連絡協議会総会に、PTA会長さん、副会長さんとともに参加しました。そこで、弓削田健介さんの講演会と歌のステージを聴きました。そこで、会長さんがぜひこの感動を東中生に聴かせたいと、この「いのちと夢のコンサート」を企画しました。

先祖からずっとつながれて今ある私たちのかけがえのない命。「あなたがくだらないと思っ
ている今日は 昨日亡くなった人が 何とかして生きてかった 何とでも生きてかった今日
なんです」。弓削田氏が旅をしながらホスピス等を訪問しながら学び感じてきた想いを、語り
と歌でじっくり伝えてくださいました。コンサートを聴いた多くの保護者の方、生徒の目から涙が
あふれていました。あらためていのちの大切さ、夢をもつことの大切さ、家族とのつながりに
ついて考えを深める機会となりました。

コンサートの終わりには、70周年記念曲「明碧の朝」を全校合唱しました。



涙が止まりませんでした 和田果乃(3-3)

弓削田さんの歌声を聴いた瞬間、涙が止まりませんでした。

迫力もありつつ優しさもあって、命の大切さや夢のすばらしさが心にすごく響きました。私たちはたくさんの先祖からつながれた命をもらい、それと同時に親からもらった名前に込められた想いを考え直すことができました。

最初に歌っていただいたハナミズキの「君と好きな人が100年続きますように」の歌詞のように、相手のことを思いやれる気持ちを大切にしたいと思います。

コンサート中ずっと涙が止まらず、すごく感動しました。そして、「一人一人が大切な存在」であることを学びました。途中で紹介された詩もすごく素敵で、忘れないでいたいと思います。

いつも支えてくれる人がいる 佐藤結芽(3-1)

コンサートの中で、特に印象に残った曲は「たいせつなあなたへ」です。この曲を聴くうち、「自分は一人じゃないんだ」「どんなに苦しい時にも、そばにはいつも支えてくれる人がいるんだ」と改めて強く感じることができました。

歌詞の意味を考えて聴けば聴くほど、お母さんにこのような言葉を直接言ってもらえたような、お母さんの心のうちを全て知ることができたような気持ちになり、涙が出てきました。

その他の曲からも、命の大切さや夢を忘れてはいけないことなど、様々なことを得ることができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今日のことを忘れず、これからの日々をすごしていきたいです。

中日新聞 新聞切り抜き作品コンクールで中日大賞受賞！

2月14日(水)に、中日新聞社主催新聞切抜作品コンクールの受賞作品の発表がありました。

そこで、1年の園田悠清君の作品「高度医療が救う命～2017日本～」が中日大賞を受賞しました。このコンクールは、中日新聞が配られている中部9県(愛知、岐阜、三重、静岡、滋賀、長野、福井、石川、富山)の学校が参加するコンクールです。今年の応募総数は9216点で、その中での受賞となりました。その他にも、入選2作品、佳作2作品の受賞となりました。

本校は、新聞切抜作品づくりに取り組んで10年になります。その中で、中日大賞の受賞は初めてで、平成26年の学校賞以来の大きな賞の受賞となりました。

本校の入賞は以下の通りでした。

- ▽中日大賞 園田悠清(1-1)「高度医療が救う命～2017～」
- ▽入 選 坂田実優(1-4)「日本が1つになって 協力 九州豪雨」
黒田実由(2-3)「どうなる!?この世界」
- ▽佳 作 松尾 桃(2-2)「子どもが危ない～気づこう危険のサイン」
佐古歩未(3-2)「いじめ～無理しないで!わかってくれる人はいる～」



医療記事を分野ごとに 園田悠清(1-1)

僕は生まれた時から心臓に2cmほどの穴が開いています。心室中欠損症という病気です。激しい運動を続けると気分が悪くなり、吐くこともあります。命を意識することが多かったので、切り抜きのテーマは、「高度医療が救う命」にしました。

休日の朝食どきに新聞を読む習慣があります。4月から関係する記事を集め、「救命救急」「臓器移植」など4分野に整理しました。受賞歴がある姉の助言で、貼り付

ける台紙を色分けして見やすくしました。印象に残ったのは、人口多能性幹細胞(iPS細胞)。この技術で、救える命がたくさんあると思います。

僕の病気を治すには手術が必要ですが、心臓をいったん止めることになり、怖くて踏み切れません。でも、医療技術が進歩すれば成功率は上がるはず。これからも、医療の新しい話題を記事で読みたいです。

(中日新聞より)

9年間 おいしい給食ありがとうございました ～3年バイキング給食～

2月14日(水) 3年生が卒業記念のバイキング給食をいただきました。9年間の給食への感謝の想いを再確認しながら、おいしくいただきました。今年のメニューは、カレーライス、焼きそば、ホットドッグの主食に、チキンカツや春巻き、えびナゲット、つくねといった主菜、サラダ、デザートなど24種類。日頃の1.5倍ほどの食材が用意されていましたが、皆いつにも増して食欲旺盛で、予定より早く完食しました。最後に給食センターの方々に全員でお礼を言いました。

